

能登半島災害支援活動のため、管路協九州支部宮崎県部会は、2月3日(土)に石川 県に向けて出発しました。

支援班は、被災を受けた方々が一刻も早く普段の生活に戻れるよう活動いたします。

現地で17日まで活動する。 るため、日本下水道管路管 機材を石川県へ派遣した。 会(久保田真樹部会長、9 红) は3日、加盟業者12人 理業協会九州支部宮崎県部 イーミナルで出発式があり 洗浄車や吸引車などの資 調査は国の査定に使わ 写真、久保田部会長が 水道の被害調査を支援す 宮崎市の宮崎港フェリー 能登半島地震の被災地で 管理業協会県部会派遣

被害調査支援

能登地震 下水道管路 調査

一へ出 発

役立ててほしい」と語った。 りが絶えないでほしいとも いが、能登の伝統ある酒造 ても写真を添えて記した。 やりとりや、補助金につい の流れを説明。初期段階は 限う。「自分の経験や知識を し、復旧段階での行政との 読」などを行ったと紹介 破災の記録を取る」「在庫 再建を強いるつもりはな 石川の下水道

い」と意欲を述べた。

国土交通省の要請に基づ

に近づけるよう頑張りた 方の生活が少しでも元の姿

一志さん(54)は一被災地の

供を受け、 りと復旧に奔走し、201 の自分ならどんな言葉が欲 9年10月に再建できた。 (旧ツイッター)へ体験談 いか」と悩み、7日にX 能登半島地震後は「当時 被災した蔵は復旧でき

蔵を仮設。酒造 配備の提 れ

る」と最初に書き、再建まで一に当たってほしい」と激 (宮崎市佐土原町)の谷口励。班長を務める中野管理 安全に気を付けながら作業 復旧に不可欠なもの。

した神戸

た して1月、同県七尾市へ2 告書などをまとめる要員と ール内の被害状況を目視や く派遣で、12人は同県能登 専用カメラで調査する。ま 予定。下水道管路やマンホ 人を派遣している。 同部会では、被害の報 輪島市などで活動する

はい「

宮崎日日新聞

R6.2.4 掲載

## 讀賣新聞 R6.2.4 掲載

町、輪島市などに向かい、 被災した下水道管路を洗浄 カメラ車などで石川県能登 強力吸引車、給水車、TV 者が所有する高圧洗浄車、 を宮崎市で行った。各事業

励。支援班の谷口一志さん

るよう支援したい」と語っ (54)は「被災者の方々が少

しでも早く元の生活に戻れ

遣する支援班12人の出発式 会九州支部県部会は3日、 能登半島地震の被災地に<br />
派 頑張ってきてほしい」と激

日本下水道管路管理業協一し、カメラを入れて中の被 19日までの予定。 が流れてきても使えない。 長が「排水ができないと水 る。式では久保田真樹部会 維持・管理事業者が所属す 害調査などを行う。派遣は 同部会は県内の下水道の





